

## 第18回生活科学系コンソーシアム総会 議事録

1. 日時 2025年5月14日(金) 17:00~18:30

2. 場所 オンライン会議(Zoom)

3. 出席者(敬称略)

構成学会 13学会 20名

国際服飾学会 河上 繁樹(会長) 山村 明子(連絡担当者)

生活経済学会 上村 協子(会長) 倉田 あゆ子(連絡担当者)

日本衣服学会 田中 早苗(連絡担当者)

一般社団法人日本家政学会 川端 博子(会長) 高橋 哲也(連絡担当者)

日本家庭科教育学会 志村 結美(連絡担当者)

一般社団法人日本健康心理学会 嶋田 洋徳(会長)

日本消費者教育学会 大藪 千穂(会長)

公益社団法人日本食品衛生学会 高野 伊知郎(会長) 河野通宣(連絡担当者)

公益社団法人日本食品科学工学会 上藪 薫(連絡担当者)

一般社団法人日本繊維製品消費科学学会 大矢 勝(会長) 佐藤 真理子(連絡担当者)

一般社団法人日本調理科学学会 真部 真理子(会長) 飯田 文子(連絡担当者)

一般社団法人日本保育学会 上垣内 伸子(連絡担当者)

服飾文化学会 玉田 真紀(会長) 伊藤 瑞香(連絡担当者)

生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会 委員 10名

阿部 栄子 池田 彩子 大藪 千穂 小川 宣子 佐藤 裕紀子 重川 純子

守随 香 杉山 久仁子 宮崎 陽子 宮野 道雄

欠席者

構成学会 2学会

日本健康医学会 日本健康科学学会

4. 資料

資料1 出席者名簿

資料2 生活科学系コンソーシアム第42回会議議事録(案)

資料3 2024年度活動報告案

資料4 2024年度決算報告案

資料5 2025年度活動計画案

資料6 2025年度予算案

資料7 第13回シンポジウム参加者アンケート(回答)

資料8 構成学会の会長及び連絡担当者の氏名、連絡先等

資料9 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会委員の氏名及び連絡先  
一覧

資料10 会費入金依頼

## 5. 議題

守隨副会長司会のもと審議に先立ち、議事録は山村委員（国際服飾学会）が作成することが伝えられ、資料1に基づき出欠確認が行われた。

### (1) 生活科学系コンソーシアム第42回会議議事録(案)の承認（杉山会長）

志村委員（日本家庭科教育学会）から資料2に基づき説明があり、承認された。

### (2) 2024年度活動報告（杉山委員）

資料3に基づき杉山会長から説明があり、一部資料を加筆修正することを確認し、承認された。

### (3) 2024年度決算報告・会計監査報告（重川委員・阿部委員）

資料4に基づき決算報告について重川委員から一部資料の修正と説明があり、続いて阿部委員から会計監査報告がなされ、いずれも承認された。

### (4) 2025年度活動計画（杉山会長）

資料5に基づき杉山会長から説明があり、承認された。

### (5) 2025年度予算案（重川委員）

資料6に基づき重川委員から説明があり、一部資料を修正することを確認し、承認された。

### (6) 第14回シンポジウムについて（杉山会長）

杉山会長から、前回会議にて子育て、子育てに関するシンポジウムにすることとしたことを確認の上、構成学会からの意見を募った（参考：資料7）。

服飾文化学会：特になし

一般社団法人日本保育学会：教育・保育の視点以外で、生活科学系コンソーシアムとして子育てに関して広い視野からの発言を期待する。

一般社団法人日本調理科学会：学会内で相談をしていないが、話題提供者を探す努力はできる。

一般社団法人繊維製品消費者学会：対応が厳しい。

公益社団法人日本食品科学工学会：子育てに関するダイレクトな研究はあまり見受けられないが、食に関する講演者を探す協力はできる。

公益社団法人日本食品衛生学会：食の安全確保のためのシステムという視野で協力したい。

一般社団法人日本健康心理学会：学会内部での検討は進んでいない。

日本家庭科教育学会：学会での検討をしていないが、保育関連の研究の立ち位置からは協力できる。

一般社団法人日本家政学会：学会内では未検討だが、学会としてできるだけ協力したい。

日本衣服学会：学会内では未検討。保育の立場から問題点等を挙げていただくことで、協力できる可能性もある。

生活経済学会：学会内では未検討。家計の視点で子育て費用などの研究はなされている可能性があるため、協力したい。

国際服飾学会：子ども服での研究発表は近年なされていないので、協力できる学会員はいないと考える。

杉山会長から日本健康心理学会に対して、子育てにおける親の心理の研究について協力を願

えるか要請したところ、可能性はあるとの回答を得た。今後は会長から子育て期の不安に対する心理的なケア、そのほかに子育て期における経済的な問題などを念頭に、個別に構成学会に相談をし、次回9月の会議にて具体的な提案をして決定することが承認された。

日本調理科学会の飯田委員からの情報提供に基づき、子育てと食の問題についても栄養面ではなく、どのように食事をするのかといった心理面などについて注目することが話題にされた。

(7) その他

特になし

6. 確認事項

(1) 構成学会の会長及び連絡担当者の氏名、連絡先等について（杉山会長）

資料 8 に基づき、構成学会名簿の記載内容について変更がある場合には、生活科学系コンソーシアム事務局、または杉山会長へ連絡をするよう確認された。

資料 9 に基づき、分科会委員の記載内容についても修正箇所がある場合には同様に連絡をするよう確認された。

(2) 2025 年度会費について（重川委員）

資料 10 に基づき、会費納入に関する担当者の連絡先と、口数について重川委員へ連絡をするよう確認された。

(3) 構成学会の 2025 年度行事予定について（杉山会長）

HP に構成学会の行事予定を掲載するための情報を、学会から生活科学系コンソーシアム事務局に提供することが依頼された。

(4) その他

特になし

7. 報告

(1) 構成学会から

13学会より 2025 年度の学会活動の予定について報告があった。

(2) 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会から（杉山会長）

日本学術会議法案が可決された。分科会では活動について検討中である。

次回会議日程

9 月開催予定しており 6・7 月中に日程調整を行う予定である。

以上